

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第34回】

地域で育つ壬生川小学校放課後子ども教室

愛媛県西条市立壬生川小学校長 柳川 五郎

西条市は、西日本最高峰石鎚山の麓に位置し、名水をはじめとする豊かな自然に恵まれたところです。秋祭りには絢爛豪華なだんじりが繰り出し、また、「千の風になって」のテノール歌手秋川雅史さんの出身地でもあります。全校児童327名の壬生川小学校は、その西条市の西部に位置しています。

『壬生川小学校放課後子ども教室』は、毎週木曜日の14:50（5校時終了後）から16:30（児童下校時刻）に、余裕教室を中心に活動しています。参加者は、1・2・3年生の33名で、地域のボランティア25名の方が交代で指導等をしてくださっています。主な活動内容は、読み聞かせ・紙芝居・手芸教室・工作教室・学習指導です。この他にも、壬生川地区体育指導員の方による「スポーツ教室(バドミントン)」や企業の出前講座として「科学実験教室」をしていただいています。また、夏季休業中には、放課後児童クラブとの交流も図っており、いっしょに「読み聞かせ」や「スイカ割り大会」、「工作教室」なども行っています。先日、放課後児童クラブと交流した「スイカ割り大会」は非常に盛り上がり、子どもたちの中に一体感が生まれました。

子ども教室をのぞいてみますと、「これ見て、これ見て。」と子どもたちが自慢の作品を次々に見せに来てくれます。本校の教職員も子どもたちの様子をうかがいによく子ども教室を訪ねます。本教室では、コーディネーターが活動内容の企画からボランティアとの打合せ、学校や家庭との連絡調整をよくして下さり、その活動ぶりには頭が下がります。また、参加児童の保護者が子どもたちの活動の支援をして下さるようになり、ボランティアに登録して下さった方も数名おられ、支援体制もできつつあります。

このように壬生川小学校放課後子ども教室は、コーディネーターやボランティアの方をはじめとして、保護者の方や地域の皆様の支えで運営されています。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第131号に掲載）